

医療の担い手としてのこころ構えB

(Intention as a player of medical care attitude toward an actor of health care)

担当教員

教授	高山 明
講師	今西 孝至
助教	松村 千佳子
非常勤講師	松本 賢哉
非常勤講師	八田 勘司

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
薬学教養	2年次 前期	講義	1.5単位	必修

【概要】

1992年7月、第2次医療法改訂により、薬剤師は「医療の担い手」と明記された。薬剤師は患者を中心としたチーム医療の中で、薬の専門家として薬物療法への積極的な関与が期待されている。最新の薬学的知識を蓄積すると同時に、医療人としての自覚と高い倫理観、そして患者や患者家族に対する良好なコミュニケーション能力を修得する必要がある。医療関係者の何気ない一言や態度により、患者との信頼関係が崩壊するケースがある。本講では、薬剤師としての倫理観や社会的役割、責任感、そして患者と良好なコミュニケーションをとるための基礎的知識について論述する。

【授業の一般目標】

患者との信頼関係を築き、医療人として社会に貢献できるようになるために必要な心構えを身につける。

【準備学習(予習・復習)】

次の学習項目について教科書を繰り返し読んでおくこと。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	生命の尊厳と薬剤師の役割	今西	人の誕生、死に関わる倫理的問題、生命の尊厳、生命観の変遷について説明できる。ヘルシンキ宣言の内容を概説できる。医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる。患者の基本的権利と自己決定権を説明できる。	A-(1)- -1~5、A-(1)- -1、 A-(2)- -1~5、C17(4)- -1、 C17(4)- -4、
2	先進医療と生命倫理	今西	医療の進歩（遺伝子治療、移植、再生医療など）に伴う生命観について説明できる。	A-(1)- -1
3	医療の目的と薬剤師の役割	今西	疾病の予防や治療、延命、QOLについて説明できる。	A-(1)- -1
4	社会における薬剤師の役割	今西	医療に担い手として、社会的ニーズの対応について説明できる。	A-(2)- -1~3、 C17(4)- -12 A-(3)- -1,2
5	チーム医療における薬剤師の役割（癌治療）	松村	患者の心理を把握して、適切な対処の方法を理解する。	A-(3)- -1~5
6	チーム医療における薬剤師の役割（緩和医療）	松村	相手の気持ちを配慮して、対人関係に影響を及ぼす心理要因を概説できる。チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。	A-(3)- -1~3、 A-(3)- -1~3、
7	医療者としての倫理	高山	医療にかかわる諸問題から、課題を見出し、それを解決する能力を醸成する。	A-(2)- -2 A-(2)- -3 A-(2)- -1,2、A-(3)- -1~3 A-(3)- -1~3
8	コミュニケーション基礎知識	八田	コミュニケーションの構成要素、メッセージ、発信・受信、言語・非言語について学習する。	A-(3)- -1
9	人間関係における自己理解と他者理解	八田	自己の反応への気付き、感情と態度について理解する。	A-(3)- -2
10	援助関係における医療者の基本姿勢と態度	八田	傾聴、明確化、感情の反映、共感、自己一致について学習する。	A-(3)- -2
11	患者・家族との信頼関係と効果的なコミュニケーション	八田	家族メンバーの相互関係とキーパーソンについて理解する。	A-(3)- -3,4
12	コミュニケーション技術（1）	松本	多様な価値観を尊重した共感的理解について演習する。	A-(3)- -2
13	コミュニケーション技術（2）	松本	チームで協調的な態度の果たす役割について演習する。	A-(3)- -1
14	コミュニケーション技術（3）	松本	情報共有と意思の伝達について理解する。	A-(3)- -3
15	総括・まとめ			

	(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書	特に指定しない 手としての心構え)	(医療の担い 適宜プリントを配布する	
参考書	特に指定しない	(医療の担い手としての心構え)	

【成績評価方法・基準】

定期試験の成績を中心に評価する（医療の担い手としての心構え）。

出席点、レポート提出（コミュニケーションズ）

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

臨床薬学教育研究センター 3 F 教授室（医療の担い手としての心構え）

本講義は、8回目の講義から教員が入れ替わります。上記の8回目から14回目講義スケジュールは前半クラス（A～Cクラス、G～Iクラス）のものであり、後半クラス（D～Fクラス、J～Lクラス）については、8～11回目の講義は松本担当、12～14回目の講義は八田担当となります。時間割表と併せて確認すること。

八田勘司：k-hatta@takara-univ.ac.jp

松本賢哉：matsumoto-k@tachibana-u.ac.jp